

## [受験者名簿記載上の留意事項]

- ① フードスペシャリスト養成機関を有する大学と短期大学が併置されている場合も、受験者名簿を別個に作成し提出して下さい。
- ② **別添1** 受験者総数は、複数の養成機関を有する場合、養成機関ごとに記入して下さい。また、養成機関の5桁コードは、協会ホームページに掲載している「2021年度フードスペシャリスト資格認定試験実施予定校一覧」記載の5桁コードを記入して下さい。  
養成機関名(学部・学科等)は、協会に届けている現在の名称を記入して下さい。  
受験者の入学(編入)時の名称と異なる場合は、別添2、別添3の備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学(編入)」のように記載して下さい。
- ③ 受験者名簿は在籍者を養成機関ごとに別添2、別添3のように分けて作成して下さい。受験番号は、3桁の通し番号として下さい。
- ④ 受験者氏名は、養成機関ごとに氏名の50音順に記載して下さい。但し、4年制大学で3年次受験者がある場合、まず最終年次在籍者を50音順に記載し、次いで3年次受験者を50音順に記載して下さい。  
氏名の表記は、戸籍抄本又は住民票の記載と同じにして下さい。なお、電子データでの名簿管理において注意を要する標準的文字以外の文字(外字作成を必要とする文字、ソフトウェアによって文字化けする可能性のある文字など)を使用する場合は、当該文字を朱筆で囲んで、**備考欄に大きく手書きで記入して下さい。**  
フリガナは必ず入力して下さい。(ルビ機能は使わないで下さい。)
- ⑤ 卒業式予定日及び受験者の生年月日の表記は、原則として元号表記とし、卒業式予定日は「令和2年3月10日」のようにきちんと表記し、生年月日は「平成」を省略し「04.08.06」や「元.08.06」のように簡略表記して下さい。また、昭和生まれは「昭和」を省略し「63.07.01」のように表記して下さい。  
但し、卒業証書の表記と統一をとる観点から、フードスペシャリスト資格認定証に記載する交付日付及び生年月日を西暦表記にすることを希望される場合は、卒業式予定日を「2019年3月10日」のように西暦で完全表記し、生年月日を「西 92.08.06」のように西暦で簡略表記して下さい。  
なお、留学生等の理由で特定受験者についてのみ西暦表記の認定証を希望する場合は、その受験者の生年月日について、「西 89.08.06」のように西暦簡略表記の前に「西」を付けて下さい。
- ⑥ 受験者名簿の認定試験区分欄には、当該受験者が受験する認定試験区分に○印を付けて下さい。
- ⑦ 備考欄について
  - (1) 3年次受験者の場合は、「3年次受験」と明記して下さい。
  - (2) 3年次にフードスペシャリスト資格認定試験に合格した人が、4年次に専門フードスペシャリスト資格認定試験を受験する場合は、「3年次合格」と明記して下さい。
  - (3) 受験者の入学(編入)時の名称と異なる場合は、備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学(編入)」のように記載して下さい。
  - (4) 全く同一内容の記載が続く場合でも、コピー・貼付け機能を活用し、きちんと記載して下さい。「//」の使用は不可です。資格認定証の申請者名簿作成にも活用できるようにするため、ご協力をお願いします。
  - (5) 外字は、備考欄に大きく手書きで記入して下さい。